

ひなぎく (1966)

SEDMIKRASKY
DAISIES

メディア 映画
ジャンル 青春 ドラマ
製作国 チェコスロヴァキア
色彩 Color
時間 75分
初公開日 1991/03/03
公開情報 アーバン 2 1
リバイバル 2007/09/01 [日本スカイウェイ]
2014/05/10 [チェスキー・ケー]

【キャッチコピー】

「女の子って何で出来てる？女の子って何で出来てる？ 砂糖とスパイスと、素敵な何か、そんなもので出来てるよ。」（マザーグースより） — 素敵な何かとは、きっと、毒のこと —

【解説】

自分たちのしたいことだけを徹底的に楽しむ姉妹の姿を、かくもポップに描き出すということは、東欧にかぎらず60年代では、それだけで“体制への反逆”であった。ヒティロヴァ監督はその後、69年から7年間にわたる活動停止を、チェコ政府から強いられた。グラビアを切り抜いているうちに互いの服も切り始め、そのうち画面までバラバラになってしまうのは愉快。色ズレ、様々なオブジェ、シュールな効果音……、ゴダールより先を行っている。そして、金持ちの宴会に忍び込んでさんざん喰い散らかし、食べ物で遊んだ挙げ句、唐突にEND。最後に出る字幕にヒティロヴァの訴えは現われている。“踏み潰されたサラダだけを可哀想と思わない人々にこの映画を捧げる”。なお、題名のひなぎくとは、チェコの花言葉で“貞淑”を意味する。

【クレジット】

監督 ヴェラ・ヒティロヴァ Vera Chytilova
原案 ヴェラ・ヒティロヴァ Vera Chytilova
パーウェル・ユラーチェク
脚本 ヴェラ・ヒティロヴァ Vera Chytilova
エステル・クルンバホヴァ Ester Krumbahova
撮影 ヤロスラフ・クチェラ Jaroslav Kucera
音楽 イジィ・シュスト
イジィ・シュルトル
出演 イヴァナ・カルバノヴァ
イトカ・チェルホヴァ